

令和5年度 外部評価実施事業（平成23～25年度）の見直し状況について

平成23～25年度に行政評価(外部評価)を実施した55事業のうち、継続判定の12事業及び令和4年度までに取り組みを実施した40事業を除く計3事業について、令和5年度予算への反映状況及び取り組みの内容をとりまとめました。

(1) 令和5年度に取り組みを実施する事業(1事業)

事業名	中学校スクールランチ			局名	教育委員会	評価年度	23
判定結果	見直し	判定結果の内訳及び市民判定員の主な意見	廃止	2	バランスのとれた完全給食に		
			見直し	9	経費削減/メニューの改善/利用率の向上		
			継続	6	経費削減の努力は必要		
取組方針	【判定結果の趣旨に沿った取組】 利用率を60%に上げて一食単価を下げるとともに、仕様書の見直しをして、経費の削減に努める。これに向けて、教育関係者、有識者、PTAからなる業者選定会議等で方法を協議し、次回、平成26年度に予定されている調理委託契約の更新に向けて、平成25年度に仕様書に反映し、入札を実施する。 利用率向上に向けて、アンケート対象者を拡大し、試食会を実施するなどして、より多くの意見を聴取してスクールランチの改善に活用する。						
取組内容	スクールランチの予約等の管理に使用しているシステムについて、インターネット経由で予約が可能な新たなシステムへと再構築することで経費削減を図る。引き続きアンケートを実施し、献立や運営等の改善を行う。						
見直し額 (一般財源)	△9,166(△9,166)						

(2) 令和5年度以降も引き続き取り組みを進める事業(2事業)

事業名	敬老パスの交付			局名	健康福祉局	評価年度	23
判定結果	見直し	判定結果の内訳及び市民判定員の主な意見	廃止	1	利用している人数・割合が低い/高齢者イコール弱者ではない		
			見直し	14	負担金の引き上げ・見直し/利用限度額・上限の設定/年齢の引き上げ		
			継続	2	高齢者のいきがいである/実施をしながら効果を見守りたい		
取組方針	【判定結果の趣旨に沿った取組】 敬老パス事業費の積算方法を見直すことにより経費の縮減を図るとともに、暫定上限額を設定し、その額を超えると見込まれる場合には新たな見直しを行う。引き続き、持続可能な制度構築に向けた検討を進める。						
取組内容	より使い勝手が良く、公平で持続可能な制度とするため、令和4年2月より対象交通拡大と利用上限回数設定の制度変更を実施した。敬老パス制度の見直しの目的が達成されているか、制度変更後の影響調査を引き続き実施する。						
見直し額 (一般財源)	—						

事業名	学校体育センター			局名	教育委員会	評価年度	25
判定結果	見直し	判定結果の内訳及び市民判定員の主な意見	廃止・撤退	5	廃止5		
			民営化	1	民営化1		
			見直し	22	市の関与の縮小3 料金の引き上げ19		
			継続	3	経費の節減2 収入の増加1		
取組方針	<p>【判定結果の趣旨に沿った取組】</p> <p>収支状況の改善目標を25年度中に設定し、使用料収入の増加や経費節減により改善目標の達成をめざす。</p> <p>利用者について拡大する余地があることから、有料利用者の拡大等により使用料収入額を増額するとともに、管理体制等の見直しにより、委託経費を削減しつつ、収支の状況を確認しながら、使用料のあり方について検討する。</p>						
取組内容	<p>当該施設の有効活用を図るとともに、周辺環境や時代の変化による新たなニーズも注視しながら、様々な方面から有効活用を行うことを検討し、子どもたちの教育環境の充実に資するよう取り組んでいく。</p>						
見直し額 (一般財源)	1,180(1,146)						